

平成22年度 決算報告書

国立大学法人山形大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,153	12,153	-	
施設整備費補助金	2,304	1,846	△ 457	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,039	907	△ 131	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	65	63	△ 2	(注3)
自己収入	17,283	19,532	2,249	
授業料、入学金及び検定料収入	5,259	5,196	△ 63	(注4)
附属病院収入	11,804	14,064	2,259	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	219	272	52	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,536	3,154	1,617	(注7)
引当金取崩	-	55	55	(注8)
長期借入金収入	4,934	2,902	△ 2,031	(注9)
貸付回収金	-	5	5	(注10)
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	39,316	40,620	1,304	
支出				
業務費	28,293	28,618	325	
教育研究経費	16,326	14,272	△ 2,053	(注11)
診療経費	11,966	14,346	2,379	(注12)
施設整備費	7,303	4,812	△ 2,491	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,039	891	△ 147	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,536	2,608	1,071	(注15)
貸付金	-	5	5	(注16)
長期借入金償還金	1,143	1,137	△ 5	(注17)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	39,316	38,075	△ 1,241	
収入-支出	-	2,545	2,545	

※1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

※2)「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前事業年度よりの繰越額からの使用額 643百万円

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、一部の事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が 457百万円少額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、計画の段階で予定していた補助金等の受入が無かったこと等により、予算額に比して決算額が131百万円少額となっています。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金収入については、決算額が予算額に比して 2百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、平成22年度授業料免除枠の拡大より、予算額に比して決算額が 63百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、病棟再整備が完了し、入院患者及び手術件数の増により予算額に比して決算額が 2,259百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、講習料及び刊行物等売払の増により、予算額に比して決算額が 52百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が 1,617百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、有期雇用職員等の退職手当等の増により、予算額に比して決算額が55百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、一部の事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が 2,031百万円少額となっています。
- (注10) 貸付回収金については、本学独自の制度である学生支援基金回収金の増により、予算額に比して決算額が 5百万円多額となっています。
- (注11) 教育研究経費については、一部の事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が 2,053百万円少額となっています。
- (注12) 診療経費については、病院収入の増加に係る診療経費の増等により、予算額に比して決算額が 2,379百万円多額となっています。
- (注13) 施設整備費については、(注1) (注3) 及び(注9) に示した理由により、予算額に対して決算額が 2,491百万円少額となっています。
- (注14) 補助金等については、(注2) に示した理由により、予算額に比して決算額が 147百万円少額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 1,071百万円多額となっています。
- (注16) 貸付金については、本学独自の制度である学生支援基金及び国際交流事業基金の貸付の増により、予算額に比して決算額が 5百万円多額となっています。
- (注17) 長期借入金償還金については、平成21年度借入設備の利率が予定より低い利率で確定したことにより、予算額に比して決算額が 5百万円少額となっています。